

Q 養命酒跡地の店舗計画への交通安全対策

内野 嘉広 議員



A 開発業者への要望等により、必要な対策を行う

質問一 交通協議の進捗状況は。

二 通学路への交通安全施設の設置について。

三 接続先の周辺の道路状況を踏まえた交通対策について。

四 市内の通学路における安全対策の現状について。

答弁一（市長） 2月19日に交通協議を実施した。再協議において、通学路の安全対策などの配慮を事

業者に要望した。

二 市では、通学時間帯に交通指導員を配置している。開発業者は、市道沿いに歩道やガードレールを設置するほか、繁忙期や登下校時には、店舗駐車場の車両出入口や市道交差点に交通整理員を配置することにしている。

三 道路反射鏡の設置、車の速度抑制のための路面標示や事故防止



のための啓発反射看板の設置を行ってきた。また、信号機の新設等も要望している。今後は、商業施設開店後の交通状況を見つつ、必要な交通安全対策を行う。

四（教育委員長） 学校安全計画に基づき、通学路の安全点検を実施している。また、教職員の立哨指導や学校応援団、保護者、地域の方々などの御協力により、児童・生徒の安全確保に努めている。

◎その他の質問

農業大学校跡地活用について

Q 子どもの貧困対策について

山中 基充 議員



A 幅広い子育て支援を推進する

質問一 本市の子どもの貧困の実態把握について。

二 貧困対策の施策と成果は。

三 貧困対策の基本方針について。

四 鶴ヶ島版こどもの貧困対策検討チームの取組を。

答弁一（市長） 健康福祉部や教育委員会などが、担当業務の範囲で経済的支援等の対象となる子どもや家庭を把握している。

二 就学援助事業や入学準備金の貸付を行い、7月から生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援事業を開始する。生活の支援として、養育相談のほか、4月から生活困窮者自立相談支援事業を開始した。ひとり親家庭の就労支援、児童扶

養手当の支給なども行っている。

三 鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画を策定して幅広い子育て支援を展開している。この計画に定めた基本理念と基本目標をもって、子どもの貧困対策に関する基本的な方針として事業を推進する。

四 これまでの施策の成果を踏まえ、導入の必要性等を検討したい。

◎その他の質問

一 鶴ヶ島を明るくする、計画的な道路照明整備を

二 新しい人事、給与制度の導入について

三 鶴ヶ島第一小学校に防球ネットの整備を

